

学校評価

2022年10月16日（日）午後1時

委員：荒井栄子（一般市民）、清都真由美（卒園児保護者）、宮本眞規子（保育園所長）

学校評価委員会は幼稚園教諭による自己評価一覧 - 職員編を検討 -
全教諭の集約した評価表公表用の報告を受け検討した。

委員による自己評価についての見解

- 1) 保護者へのアンケートが行われなかったため、今年度は実施する必要がある。
- 2) 園バスでの事故が起きているところがあるので、当園でもこれまで以上に注意をし、安全確保を徹底すること。
安全システムの導入も望ましいが、人間がその都度確認することが大切だ。
二重、三重の確認をする方向で配置することが必要。
- 3) 新型コロナウイルス感染予防に時間と労力を使うことが多かったが、
今後も感染予防に注意を払いながらの保育を心がけ、行事の内容や保護者の関り方などを再度みなおしていくことが必要。

運営全般についての見解

- 1) クラスの活動をチームで行う場合、皆で体制を理解するために分かり易く
情報交換をしていく必要がある。
- 2) 職員の休憩時間を取る場合の時間帯、取り方などの工夫をする必要がある。
- 3) 運営の仕方、働き方改革の導入が為されていることを評価します。
新人が採用された場合、分かり易いように伝えることが求められます。
- 4) 扶養の範囲内で働いておられる非常勤の方が今後どのように変化するのかを
分かるように配慮することが必要。
- 5) 園バスの安全を含め、危機管理マニュアルを見直し、説明出来るように共有する
必要がある。
- 6) 新型コロナウイルス感染予防に対して、インフルエンザと合わせて感染予防に注意
していくことが求められる。